

求める教員像及び教員組織の編成方針

東京医療学院大学（以下「本学」という。）は、その理念・目的を実現するため、以下のとおり、「求める教員像」及び「教員組織の編成方針」を定める。また、本学の教員組織の適切性について定期的に点検・評価し、その結果を改善・向上に結びつけるものとする。

求める教員像

優れた人格、教育研究指導上の能力、教育実績、研究業績、学界や社会における活動実績等を有する者

教員組織の編成方針

- (1) 本学は、学部、学科の教育課程、学生収容定員等に応じた教育研究上必要な規模の教員組織を設置する。
- (2) 本学は、教員の年齢構成や男女比など教育研究上の必要性を踏まえ、収容定員における教員1人あたりの学生数に配慮しながら、教員組織ごとに必要な教員を配置する。
- (3) 本学は、教員の適切な役割分担のもとで組織的な連携体制を確保し、教育研究に係る責任の所在が明確になるよう教員組織を編成する。
- (4) 本学は、教員の募集、採用、昇任等は、明文化された基準及び手続に従い、公正かつ適切な方法で行う。
- (5) 本学は、教員の資質向上を図るために、組織的、多面的にファカルティ・ディベロップメント（FD）活動に取り組み、このFD活動を通じて、教員の教育能力の向上、学習成果の分析を踏まえた教育課程の開発及び改善、教育効果を高める授業方法等の改善等を図る。
- (6) 本学は、教育活動、研究活動、社会活動等に関する教員の業績を評価し、それらの活動の活性化を図る。